



# 上中だより

No.14 令和2年9月発行  
横浜市立上飯田中学校  
校長 山川伸二

## 2学期が始まりました。次なる飛躍を大切に！

9月に入り、まだまだ厳しい残暑が続く毎日です。台風10号の九州地方を中心とする全国各地への被害がとも心配されます。コロナ禍での「感染拡大予防・防止」の徹底に加えて、酷暑における確実な「熱中症対策」、そして台風・豪雨等の自然災害から身を守る的確な早期対応と、あらためて生命の尊さと普段からの高い意識、適切な判断の大切さを痛感しています。自らを守ることはもちろん、家族を、仲間を守るために自分がどう行動すべきかを考えられる皆さんであってほしいと願っています。

2学期が始まりました。今年は1学期での臨時休業の実施をふまえ短い夏季休業となりました。行動自粛を常に心に留めながらも、家族等で工夫し作り出した時間はきっと皆さんの安心や豊かさにつながり、それが笑顔での学校生活のスタートになったと思います。始業式では、2学期に向けて、仲間からのあたたかい、前向きな言葉がありました。このような厳しい状況だからこそ、皆さん自身の取組が大事であり、お互いの支えとなるはずで、一人ひとりが2学期への具体的な目標を明確に持ち、安全確保を第一として、行事や授業等の活動に一生懸命取り組んでほしいと期待しています。いつもより長い2学期です。慌てず、無理をせず、しっかり自分自身を振り返りながら着実に進むことが必要です。また、このような状況下で起こりえる不安や心配も当然です。だからこそ、自分を大切に、そして仲間や家族、先生方との信頼を大切に、力を合わせて乗り切っていきたいと強く感じています。

安全確保に向けた「新たな生活様式」を日常の当たり前！

コロナ禍の厳しい状況は、9月に入って全国的に徐々に落ち着きが見られます。しかし、その感染拡大は収束の見通しがたらず、依然として安全確保を第一にとらえた取組が求められていることに変わりはありません。学校では、この2学期、「安全確保の徹底を通して、行事や授業等の教育活動を継続し、維持していくこと」を目標としています。体育祭・文化祭は、現段階では時間を短縮し、内容を縮小、工夫改善して実施していきたいと考えています。活動を行わないことを前提にするのではなく、行うためにはどう安全を確保すべきかを皆で考え、徹底しながら、取組を通して良い思い出を、そして達成感や充実感を得られるようにしたいと思います。そのためには、皆さん一人ひとりが、感染拡大防止・予防に向けた新たな生活様式を当たり前のこと、日常的に取り組むこととして確実に定着させることが最も大切です。日々の検温（健康観察票の提出）、マスクの着用、手洗いの励行、密を避ける適切な距離間の徹底

等を当たり前前の行動としなければ、行事や授業を実施でき有意義な学校生活にすることは難しいと思います。もう一度自分たちの普段の行動を見直しましょう。そして安全確保への徹底が、日常化できるようお互いに努めていきたいと思います。前向きさ、真剣さ等、皆さんの意欲や積極さは多くの場面で実感できますが、思いだけでは生命を守ることはできません。安全確保ができなければ、活動を中止せざるを得ません。自分たちの活動を守るために、安全徹底への取組を普段の行動としてできるよう頑張りたいですね。それが皆さんの一生懸命さを自らが支えることになるはずです。

がっこうきょういくもくひょう  
学校教育目標 : ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中  
かみいだちゅう

たようせい みと たいせつ ひとり  
「多様性」を認め、大切にできる一人ひとりに！ (その2)

さべつ へんけん ゆる ひとり  
差別や偏見を許さない一人ひとりに！  
さべつ じぶん き め まえ ひと おも いた  
差別する自分に気づくこと、目の前の人の思い(痛み)をわかること

8月に入って感染拡大は、全国的に広がり、とても危惧される状況です。横浜市でも生徒や先生の感染が報告され、その深刻さが一層身近なものに感じられるようになってきました。そのような状況で、決してあってはならない、不当な偏見や差別が現実化しています。コロナ感染にかかわる心無い発言、そして行動で、実際に苦しみ、傷ついている人がたくさんいます。学校でも、皆さん自身が仲間とのかかわりを通して、「差別は決して許してはならないこと」として肝に銘じる必要があります。だれもが感染したくて感染するわけではありません。感染して最も早く、苦しく、不安を抱くのは、その当事者だと思います。あらためて常に自らの胸に手を当て、自分ごととしてとらえるように努力してください。今の厳しい状況を皆で乗り越えていくためにも、一人ひとりがあたたかさを大事にして、差別を許さない学校を目指しましょう。差別する自分にお互いが気づき、目の前の仲間の思い(痛み)を受け止められる自分を大切にしてください。それこそが、「多様性」を認め、大切にできる皆さんだと思います。

「いじめ」についても決してあってはならないことです。2学期がスタートして、今年の中で最も充実感を得られる時期になります。行事を通して、また普段の生活の中で、人間関係が深まるとともに、お互いのトラブルも起こりやすい時です。「いじめ」は、感染にかかわることのみならず、身近なところで起きています。もう一度日々の生活を振り返る必要があります。そして「いじめ」は決して許さないことを全員が心に刻むことだと思います。さらに最近続いた地域における、心無い行動も同様です。自分だけが良ければという自分本位の考え方が、その根底にあるように感じます。自ら申し出た姿勢(正直さ)を大切にするためにも、目の前の人の思いや痛みをしっかりと受け止めた行動ができることを心から願っています。

いのち とうと もっと みちか たいせつ かんが ねん  
「生命の尊さ」を最も身近に、そして大切に考えられる1年です

先日、「防災訓練」を実施しました。防災の日に合わせて、全校で防災の大切さ、生命の尊さを考える、とても意味のある機会となりました。今年は新型コロナウイルス感染拡大が続く中、皆さんが、常に生命の大切さについて直接実感できる日々だと思います。今回は大規模地震の発生を想定した訓練でしたが、「自助・共助」のためにどう行動すべきかを一人ひとりが真剣にとらえることができたと思います。全校生徒が集合するのは4月の入学式・始業式以来になりましたが、熱中症に十分考慮しつつも、避難の仕方、暑い中での話の聞き方、感染拡大予防を意識した整列など、すべての場面で皆さんの成長を感じました。あくまでも訓練です。今まさに地震が起きているわけではありません。何より真面目にとらえきちんと取り組む「真剣な姿勢」が最も大切です。皆さんの動きはとても評価できる行動だったと思います。ご苦労様でした。これからも、緊急時今どう行動すべきかを適切に判断できる一人ひとりになるため、普段からの積み重ねを大切にしたいと思っています。そして、今も全国のどこかで、被災された方々が厳しい生活を余儀なくされ、復興に向けて毎日努力しています。自分たちにできることは、震災によって甚大な被害があったことを、そして多くの方が今でも苦しみ、復興に向けて努力していることを心に刻み、決して忘れないことだと思います。



ひなんくんれん ようす がんばり  
避難訓練の様子です。頑張りました！

保護者、そして地域の皆様、いつも生徒をあたたく見守り、子どもたちのために学校を支えていただき感謝します。コロナ禍の状況は厳しさを増し、一層の安全確保に努める必要性を強く感じています。学校では、この2学期、「安全確保の徹底を通して、教育活動を継続し、維持

していくこと」を目標にしています。職員の消毒等安全対策の徹底・継続を図りながら、生徒の生命をしっかりと守りつつ生徒の活動を第一にとらえて大切にしていきたいと思ひます。そのために、本年度は体育祭、文化祭等の行事への、皆様の参加についてとりやめることを決定しました。大変申し訳ありませんが、生徒の安全確保と活動保障の重要性を踏まえ、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。校舎改修が着実に進んでいます。今学期中には新たな上飯田中の姿を示すことができそうです。これからも学校へのご支援、ご協力をお願いいたします。

<b>【 学校教育目標 】</b>	<b>ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中</b>	<b>《多様性》</b>
か のうせい【知】 み とめあい【徳・公】 い ぶんか【公・開】 い のち【体・徳】 た くましく【体・徳】	<b>《 具体的な目標 》</b> <b>知</b> ：基礎・基本の定着を図るため、自らがつまずきに気づき、その課題解決に取り組むことにより、学ぶことの大切さや喜びを感じながら、あきらめないねば強い子どもを育てます。 <b>徳</b> ：物事を正しく判断し、責任ある行動をとり、人と人との心のふれあいをとおして、個をみつめ、自他ともに大切にすることを育てます。 <b>体</b> ：生命を尊重し、自ら心と身体を健やかに育み、基本的な生活習慣を身につけるとともに、自然を愛する心と、健康と安全について考え実践できる子どもを育てます。 <b>公</b> ：横浜を見つめ、かかわり、「まち」を愛し「まち」とともに歩み、そして地域の一員として、協力しあってよりよい集団や社会を築こうとする子どもを育てます。 <b>開</b> ：日本の文化や伝統を大切にするとともに、広い視野をもち、異なる文化を互いに認め合い、人と人とのつながりを大切にできる子どもを育てます。	